

京都文化カプロジェクト

「京のくらしの文化体験事業（仮称）」等企画運営・広報業務仕様書

1 業務名

京都文化カプロジェクト「京のくらしの文化体験事業（仮称）」等企画運営・広報業務

2 事業の趣旨・目的

東京 2020 オリンピック・パラリンピック等に向けて、オール京都で京都から多彩な文化芸術を国内外に発信する「京都文化カプロジェクト 2016-2020」の推進に当たり、2019 年度のテーマ「くらしの文化」のリーディング事業として、京都のくらしの文化を一堂に集め、多彩な形で気軽に楽しんでもらえる事業を実施する。これにより、一般府民・市民や観光客が京都に受け継がれる伝統に親しみ身近なものとする事で、2020 年に向けて文化の裾野を広げることを目指す。また、くらしの文化を学べる各分野の教室を開放する「まちじゅうお稽古（仮称）」の取組と連動させ、本事業で興味を持ったお稽古事に気軽に通い始めることができる仕組みを作り、文化に携わる人口の拡大を目指す。

3 開催概要

(1) 京のくらしの文化体験事業 1（仮称）

日 程：2019 年 9 月 3 日（火）～5 日（木） ※9 月 2 日（月）準備，9 月 5 日（木）撤収

会 場：京都市勧業館みやこめっせ 3 階 第 3 展示場の一部

※全体 4,000 m²のうち約 1,333 m²を使用

残る約 2,666 m²は京都商工会議所が主導する「文化×知恵産業展（仮称）」（伝統産業製品の
実演・展示，伝統産業をルーツに発展した先端企業の展示等，以下「文化×知恵産業展」
という。）を同時開催

対 象：一般府民・市民，国内外の観光客，ICOM（国際博物館会議）京都大会 2019（以下「ICOM」
という。）参加者（世界 141 箇国・約 3,000 人），大学生等

入場料：無料 ※体験に伴う実費相当の参加料は委託者と協議のうえ受託事業者が徴収すること

主 催：京都文化カプロジェクト実行委員会

(2) 京のくらしの文化体験事業 2（仮称）

日 程：2019 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）

※10 月 18 日（金）午後準備，10 月 20 日（日）撤収

会 場：京都経済センター 2 階 京都産業会館ホール（北・中室 823 m²）

対 象：一般府民・市民，国内外の観光客，小中高生・大学生等

入場料：無料 ※体験に伴う実費相当の参加料は委託者と協議のうえ受託事業者が徴収すること

主 催：京都文化カプロジェクト実行委員会

(3) ICOM へのブース出展

日 程：2019 年 9 月 2 日（月）～4 日（水）

※9 月 1 日（日）午後準備，9 月 4 日（水）夜間，5 日（木）午前撤収

会 場：国立京都国際会館 イベントホールまたはニューホール（3m×3m）

※「文化×知恵産業展」との共通ブースとなる

対 象：ICOM 参加者

4 委託業務内容

(1) 企画

○京のくらしの文化体験事業1（仮称）

- ・文化芸術基本法に規定される生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）を中心に、京都の生活の中で培われてきた多彩な文化を幅広く紹介する事業の企画・運営
- ・京都の文化人によるミニトークライブなど事業の趣旨に合ったステージイベント（座席数100名程度）の企画・運営
- ・来場者への特典など集客増につながる事業の企画・運営
- ・事業内容に沿った適切なイベント名称の提案
- ※展示・実演・体験・講演など様々な形式により、普段、文化芸術になじみの薄い層や訪日外国人旅行者が気軽に楽しみ、くらしの文化に親しめる企画とすること
- ※くらしの文化に密接に関わる伝統産業品がどのように使われているのかも含め、学びの場となるような工夫をすること
- ※京都文化カプロジェクト実行委員会（以下、「本委員会」という。）が2019年9月～11月に別途実施予定の「まちじゅうお稽古（仮称）」（くらしの文化を身近な場所で学べる各教室を開放する取組）と連動させ、本事業の参加者が気軽に各教室に行き、継続して学びたいと思う仕掛けづくりをすること
- ※会場はみやこめっせ第3展示場4,000㎡のうち、約1,333㎡を本事業で使用、残る2,666㎡は「文化×知恵産業展」が使用するため、同事業の受託事業者と協力・連携すること
- ※「文化×知恵産業展」とステージを併用する予定であり、設営は「文化×知恵産業展」のエリアにおいて同事業の受託事業者が行う。

○京のくらしの文化体験事業2（仮称）

- ・文化芸術基本法に規定される生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）を中心に、京都の生活の中で培われてきた多彩な文化を幅広く紹介する事業の企画・運営
- ・来場者への特典など集客増につながる事業の企画・運営
- ・事業内容に沿った適切なイベント名称の提案
- ※展示・実演・体験・講演など様々な形式により、普段、文化芸術になじみの薄い層や訪日外国人旅行者が気軽に楽しみ、くらしの文化に親しめる企画とすること
- ※本委員会が2019年9月～11月に別途実施予定の「まちじゅうお稽古（仮称）」と連動させ、本事業の参加者が気軽に各教室に行き、継続して学びたいと思う仕掛けづくりをすること
- ※学生など若い世代にも興味を引くような企画とすること
- ※「京のくらしの文化体験事業1（仮称）」との関連性を持たせた企画とすること

○ICOMへのブース出展

- ・文化芸術基本法に規定される生活文化（茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化）を中心に、京都の生活の中で培われてきた多彩な文化を幅広く紹介する事業の企画・運営
- ※世界141箇国のICOM参加者が気軽に楽しみ、「京のくらしの文化体験事業1（仮称）」への効果的な誘導となる企画とすること
- ※共同で出展する「文化×知恵産業展」の主催者と十分に調整を図ること

(2) 運営

- ・出演者・司会者、通訳の手配・連絡調整、当日のアテンド、時間管理、飲料水の提供、出演料・謝金等の支払と源泉税の納税

- ・会場設営（看板等装飾，音響，照明，映像等），撤去（会場との連絡調整，事前打ち合わせ含む。）
※みやこめっせ会場使用料は別途支払うため計上不要
※京都産業会館ホール使用料，ICOM ブース出展料の支払いは委託業務に含む。
京都産業会館ホール使用料 965,841 円（税別，共益付帯料等別途），ICOM ブース出展料 350 千円（税別）を見込むこと
- ・進行管理（会場レイアウト図，タイムテーブル，運営マニュアル，進行台本等の作成含む。）
- ・参加者の受付，案内，誘導，案内表示等（来場者数の把握含む。）
- ・外国人来場者対応（展示説明・場内誘導の英語表記，バイリンガルスタッフの配置等）
- ・参加者等の安全管理
- ・イベント保険への加入と保険料の支払（対人・対物補償を含んだ賠償責任補償）
- ・当日配布資料等の作成（当日プログラム及びアンケート作成，同封チラシ等の袋詰め作業含む。）
- ・参加者へのアンケート実施・回答集計・分析など
- ・開催記録，議事要旨，記録写真の作成
※本委員会 WEB サイトに掲載するため，受託者により必要な関係者に事前の了解を得ること
- ・各種体験事業ごとの参加料の徴収，参加人数の把握及び実績の報告

(3) 広報・宣伝活動

- ・広報用チラシ，パンフレット等 PR ツールの作成・配布 ※日英で作成
※9 月実施分，10 月実施分それぞれ作成・配布すること
- ・本委員会 WEB サイトへの掲載原稿の作成
※9 月実施分，10 月実施分それぞれ作成すること
- ・広告媒体等を活用した京都内外の幅広い世代への効果的な周知・広報
※9 月実施分，10 月実施分それぞれの参加対象者に訴求するものとする
※「まちじゅうお稽古（仮称）」への誘導にもつながる内容とすること

5 委託業務期間

契約日から 2019 年 12 月 31 日まで

6 成果物（事業報告書）の提出

事業内容をテキスト，写真等を使って分かりやすくまとめた事業報告書を作成し，本委員会事務局の確認を受けたうえで，事業終了後，すみやかに提出すること（データ含む。）

- ・ 広報チラシ，パンフレット等 PR ツール
- ・ 配付資料
- ・ 参加者名簿
- ・ 回収したアンケート（原本）及びアンケート分析結果
- ・ 開催記録，議事要旨，文字起こし，記録写真 等

7 その他留意事項

- (1) 受託者は，本業務の遂行に当たり，関連法令及び本仕様書を遵守するとともに，委託者の意図及び目的を十分に理解した上で，適正な人員を配置し，正確に行うこと
- (2) 本仕様書及び契約書に定めのない事項や，その他調整を要する事項については，受託者と委託者が協議のうえ，決定すること
- (3) 委託で得られた成果物の全ての著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む。）は，委託者に帰属する。また，受託者は成果品につき，著作者人格権を行使しない

- (4) 受託者は業務で知り得た情報及び業務に係る内容を第三者に漏らしたり，その他の目的に転用してはならない。
- (5) 提案された内容全てにおいて，実施することを確約するものではなく，内容及び金額については，双方が調整すること
- (6) 受託者が本業務によって委託者または第三者に損害を与えたときは，受託者が賠償の責任に任ずること
- (7) 本委員会 WEB サイトへの掲載に関して，本委員会が別に委託する WEB サイト受託事業者と連携し行うこと

8 参考資料

- ・本委員会 WEB サイト <http://culture-project.kyoto/>
- ・機関誌第 3 号ホームページ <http://culture-project.kyoto/event/organize/detail/38>